

カテゴリ【4】企業との連携

地域へ**障害者就労の理解**を広め、
そして…**販路の確保と拡大を全国に図る！**

Point

- 地域で親しまれている最も優れた商品であること
- 地域へ障害者就労支援を理解を頂き、限定販売中心のみに特化して商品価値を高める販売戦略を展開している



事業実施のきっかけ・経緯

●地元の「おぼろ豆腐」の製造元がなくなり、江戸時代から続く郷土料理「おぼろ汁」の存続が危ぶまれ、町民の願い、観光商工室、産業振興課の後押しと協力があり、地域に根差した「涌谷とうふ店」を設立。就労継続支援A型事業所として、障害者の方に社会参加の場と、就労の更なるステップアップとして事業の継続と発展を図っている。

事業概要

- 江戸時代から続く**伝統食・郷土料理の存続**
- 地域の農業・生産組合と契約を結び、地域との連携を密にし、より深い障害者就労の理解を含めた**六次産業化を目指す**

成果

- 農業組合に対しては年間180tを超える大豆流通を消化 販売先も大手企業といった全国へ販売ルートを拡大

この成果で、工賃のアップを図ることができた
月/85,000円 ⇒ 100,000円へ

今後の展望

- “豆腐”といったカテゴリーではあるが基本的には障害者雇用の拡大を社会に訴えていきたい
- 運営のノウハウをオープンにし、企業と連携をしながら進めていく
- 企業の責任として障害者を雇用しなければならないという意識をもっていただきたい 自分たちの活動がその一歩となるように…

農事組合法人 涌谷東の皆さん



高度な手仕事を実現



地道な販売活動も行っています



涌谷町の伝統食品を守る決意です

涌谷町産ミヤギシロメ大豆を100%使用しています

障害者の働く場＝仕事創出

事業所より一言

涌谷町の伝統食品「おぼろ豆腐」を守り続けていく決意を、障害を持つ従業員と共にもち仕事に励んでいます。企業との連携を進め、本当の就労継続支援を企業に訴えて、ご理解いただいた企業数は数十社に及び、障害者の方への仕事づくりが成功しています、

企業と就労継続支援で深い結びつきを実現



本事例の事業所紹介



株式会社まちの豆腐屋プロジェクト

〒987-0112

宮城県遠田郡涌谷町字桑木荒156番地3

TEL0229-29-9127

FAX 0229-29-9147

(株)仙台水産/(株)北辰水産/(株)ロック・フィールド
ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)/(株)ラムラ 他

農と林で生々(いきいき)就労

Point

- 農業県の社会資源を活用し、農・林の自前生産活動
- 積極的な社会対応型活動。近隣農場・農園・農家への施設外作業(外勤)
- 内職型工賃の倍々の作業工賃支給実現



事業実施のきっかけ、経緯

- 農業従事者の高齢、減少、生産調整に伴う先行不安(減反・TPP)等々、農業県秋田にとっては深刻な状況。
- 一方、社会福祉に関しても社会での受け入れ態勢が鈍くニーズに沿っていない現状。
- 農業と福祉をリンクさせる事により、農業への労力提供、障害者には就労の場・活動の場の提供となり、その相乗効果で新たな地域づくりに発展していくものと期待

事業概要

- 雇用情勢は依然として厳しく、中間的就労訓練事業所にたよらなければならない現状のなか、内職型就労事業所が多く日中活動的対応が主であり、作業工賃の低さが問題であった。平成23年8月、自前生産活動、農業(菌床椎茸栽培・ハウス畑作等)を主とする就労継続支援B型事業所羽後のうさんを設立
- 「ここをステップに、1歩でも2歩でも前に進んでいこう。」を合言葉に各活動に精を出している

成果

- 念願の作業工賃は現在月15000円～40000円を支給
- 作業活動で得た菌床椎茸栽培工程、農業のノウハウの成果を近隣の農場・農家へ施設外活動(外勤)にて発揮
- 社会との接触・交流のひろがりが大いなる社会参加、参画を課している
- ステップUPにより一般就労、他事業所(A型)への移行とつながっている

今後の展望

- 新たな産業(種目)を加え、就労継続支援A型事業所の開設、正規の雇用関係を結ぶ
- 福祉サービス対応と農・林業の技術取得等の教育体制を確立、人材の育成が課題



事業所より一言

菌床椎茸は、連日JAや大手スーパー等に出荷し、肉厚の椎茸として大好評を得ております。一度ご試食ください。

本事例の事業所紹介



特定非営利活動法人 湯雄福祉会
就労支援羽後のうさん

〒012-1100

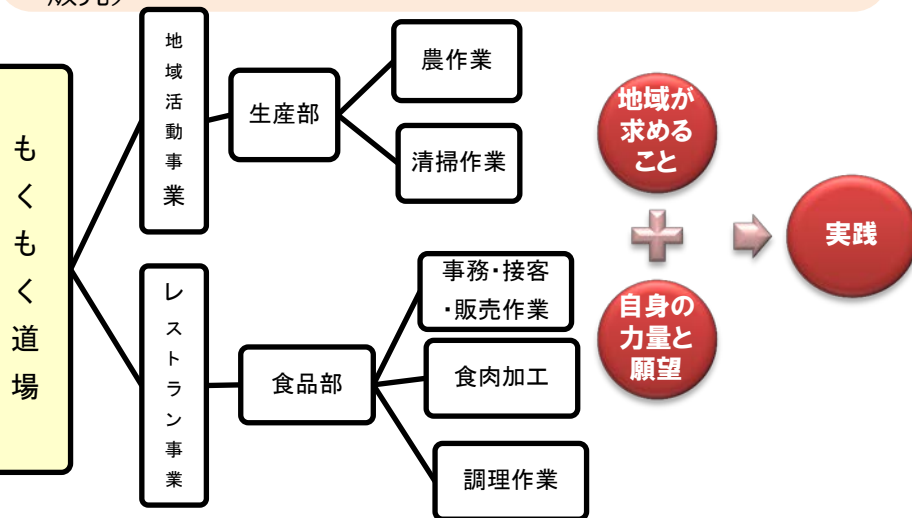
秋田県雄勝郡羽後町字稻荷19-3

TEL0183-55-8148 FAX0183-55-8066

【もくもく道場】

Point

- 工賃のための売上げの確保
- 地域のニーズを捉えた、事業展開
- 六次産業（自家生産し、自家加工した自分たちで販売）



事業実施のきっかけ、経緯

- 私たちの住む地域では高齢化が著しく、農家で後継者不足などが課題です。そこで、地域の廃墟や荒れ地を防ぐため、地域の方から、使用しなくなった鶏舎や休耕田をお借りして農産物や比内地鶏の生産をしています。
- 地域では高齢化による後継者不足などから、若者の力（労働力）を求めています。農作業や、清掃作業のニーズがあったため地域が求めるものと、自分たちの力量願望が一致し、作業として実践しています。
- 地場産業として、特産である比内地鶏に着目し、それを利用した商品開発・販売をしています。

事業概要

- 社会福祉法人慈泉会 就労支援センターもくもく道場（就労継続支援B型事業所）定員：20名
- 生産部と食品部に分かれて活動しております。生産部では農産物の生産販売、比内地鶏の飼育、清掃作業を実施。
- 食品部ではレストラン事業、弁当、惣菜、食肉加工を実施しています。
- 作業活動を通して、工賃を支給し、地域社会で生活していくための支援をしています

成果

- 農地をお借りして、じゃがいも、にんじん、ネギなどを生産、地域のスーパーや、給食センターのどに販売しています。
- 自家生産した、野菜や、比内地鶏を加工し、弁当や、お惣菜として販売しています。
- 農家からの依頼で、畑の草むしりや収穫のお手伝い等の依頼作業をしています。
- 地域の体育館や老人施設、一般家庭のご依頼でハウスクリーニングやお墓の清掃、除草作業など幅広い依頼清掃作業をしています。
- 豪雪地のため地域からの除雪作業依頼が上昇しています

今後の展望

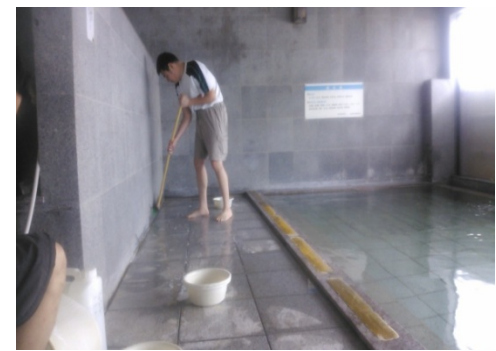
- 地域が求めることは日々変わってきますので、ニーズ調査、先を見据えた作業開拓の重要性
- 清掃技術など、利用者の作業技術向上のための支援
- 本人たちが求める工賃を支給するための、売上げの確保。営業活動、新商品の開発・販売
- 社会が求める人材を「地域」で育て支援する。



農作業 (じゃがいも収穫) **農家依頼作業**



養鶏作業



温泉清掃作業



お寺依頼作業



体育館清掃作業



イベント販売



500円ランチ(要予約)



比内地鶏燻製



弁当作業

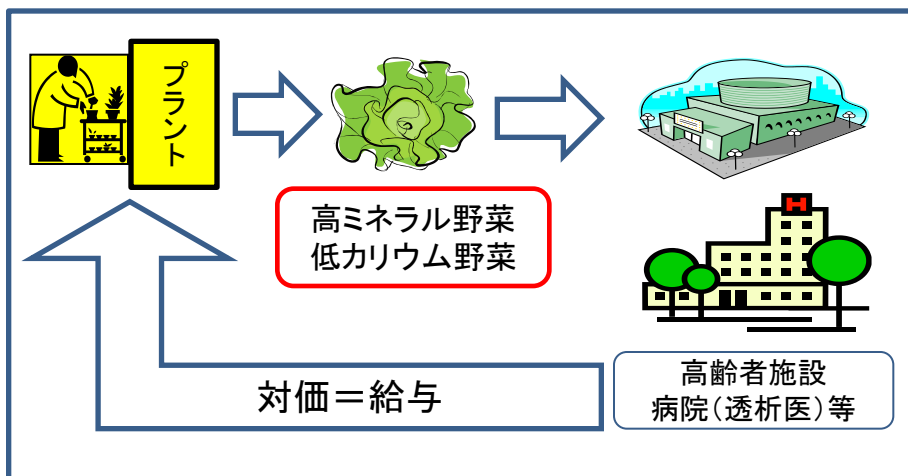


社会福祉法人 慈泉会
就労支援センター もくもく道場
〒019-1404
秋田県仙北郡美郷町六郷字安楽寺362
TEL:0187-88-8299 (食品部)
FAX:0187-88-8062

【街なか野菜工場】 ～フレッシュファクトリー～

Point

- 就労継続支援A型による雇用の場づくり
- 企業・大学等と連携したプラントの開発
- 安全・安心な野菜の栽培と量産化



事業実施のきっかけ、経緯

- A型の自主事業として農業への参入を検討
- 第一期(H24～)プラント導入と試験栽培
- 第二期(H25～)低カリウム栽培開始

事業概要

- 空きビル等を活用してA型2か所の開設(下条・清住)
- 下条事業所は利用者3名・職員1名で高ミネラル野菜
- 清住事業所は利用者10名・職員3名で低カリウム野菜

成果

- 年間を通して安定的な作業の確保が可能
- 一般的な農作物との明確な差別化により競合回避
- 高齢者施設、病院(透析専門医)などへの受注販売

今後の展望

- 就労支援における新たなビジネスモデルの創造
- 実績の蓄積と県内・全国へのネットワーク推進
- 国としての支援策の構築が必要



播種



発芽～育成



収穫



プラント全景

事業所より一言

- ①安全・安心な野菜の提供
 - ②社会・経済的な自立支援
 - ③地域社会循環への貢献
- をモットーに展開します。

本事例の事業所紹介



(株)山形包徳

〒990-0832
山形市城西町4-3-23

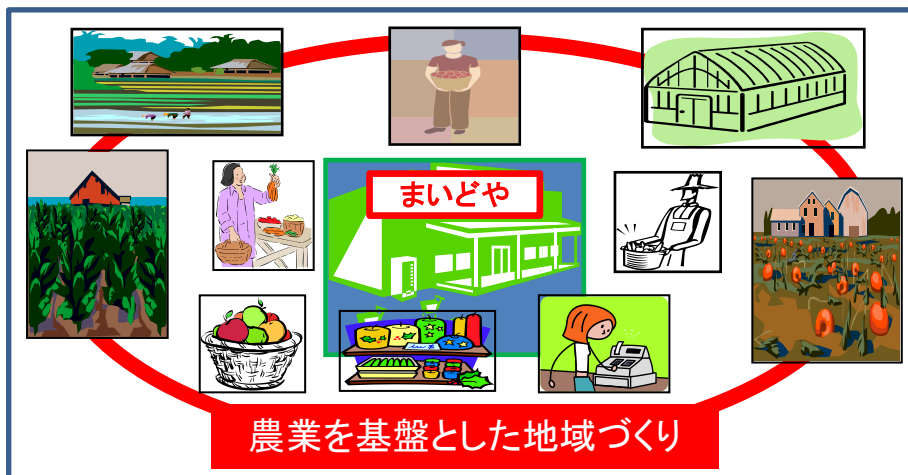
TEL 023(674)0877
FAX 023(674)0878

【コミュニティマーケット】

～農業を基盤とした地域づくり～

Point

- 耕作放棄地の再利用による農作物の生産と販売
- 就労を通じた社会参加と農業を基盤とした地域づくり
- 空き店舗の再利用によるコミュニティマーケット



事業実施のきっかけ、経緯

- 昭和58年～小規模作業所「かにの家」の運営
- 平成18年～移行・B型・生活介護・GHCH等の多機能
- 農作物生産・食品製造に加えて店舗運営を模索
- 平成22年10月～コミュニティマーケットオープン
（「まいどや」「彩菜館」「ギャラリー」「フェリーチェ」）

事業概要

- 「まいどや」～農作物と加工食品販売
- 「彩菜館」～近隣農家の産直
- 「ギャラリー」～希望者の展示スペース
- 「フェリーチェ」～イタリアンレストラン
- 利用者9名・スタッフ5名で運営

成果

- 市民の反応良好、産直は近隣農家約50軒参加
- 生産品が目の前で売れる喜びと就労自立の励ましに
- 社会参加とともに「販売＝収益」の経済を学ぶ場に

今後の展望

- 冬場の入荷量確保に向け、ハウス栽培を開始
- 学校給食等での地産地消への拡がりを模索
- 将来的には利用者との雇用契約を検討



産直部門とレストラン(右奥)



食品加工部門



ギャラリー



外観と看板

事業所より一言

「まいどや」を始めたら、いろんな人が集まるようになってきた。学校帰りの子供たちも…。これから、もっと面白いことができるかも…。

本事例の事業所紹介

NPO法人置賜自然と共育の村 多機能型事業所「かこの家」
コミュニティーマーケット「まいどや」

〒992-0055 山形県米沢市御廟1-9-22

TEL・FAX 0238(21)2760

【生ごみやさいクル事業】

～行政・企業・市民との連携～

Point

- 生ごみたい肥の回収作業をとおり、利用者の社会参加と就労訓練の幅が広がった。
- 東北山形と九州大分のコラボレーション。
- 四位一体でお互いWin - Winの関係。

生ごみ循環のイメージ



事業実施のきっかけ、経緯

●一昨年から始まった「生ごみやさいクル」事業に参加し、市民の持ち寄った生ごみたい肥を回収し、畑にまいて循環型野菜づくりをおこなってきた。しかし、生野菜の一般販売や交換には大変苦労をしてきた。そこで野菜を無駄なく生かすために加工品事業に着目し、やさいクル加工品第一号として「柚子こしょう」を、第二号として「柚子こしょうドレッシング」を開発し販売をおこなっている。

事業概要

- 山形・蔵王において、大規模な農地で生ごみたい肥を利用し唐辛子を栽培。収穫した唐辛子を九州へ送り、柚子こしょうに加工。この事業を知ったレストランと柚子こしょうを使ったドレッシングを共同で開発した。
- 行政は燃やせるゴミの軽減・税金の軽減、市民は生ごみたい肥を持ち寄り商品と交換、私たちNPOは障がい者の社会参加と就労作業で工賃アップ、企業は商品を世に出すノウハウの伝授と知名度のアップが狙える。

成果

- 加工品が増えたことで市民の方が交換できる商品が増え、市民の方が楽しんで事業に参加でき、事業への魅力が高まってきた。
- 柚子こしょうをとおり、東北山形になじみが薄かった九州の食文化を伝えることができた。
- 事業をとおり、利用者の方の社会参加が増え、地域コミュニティが確立された。

今後の展望

- やさいクル加工品を増やしていき、事業で交換できる商品の幅を広げていく。
- こんにゃく道場のブランド力を高めていく。
- 市民の方が楽しんで交換できる仕組みを構築していく。



事業所より一言

地域に出向き、人と出会い、営みを得ることで、社会と共に成長していける環境づくりを担っていきます。

本事例の事業所紹介

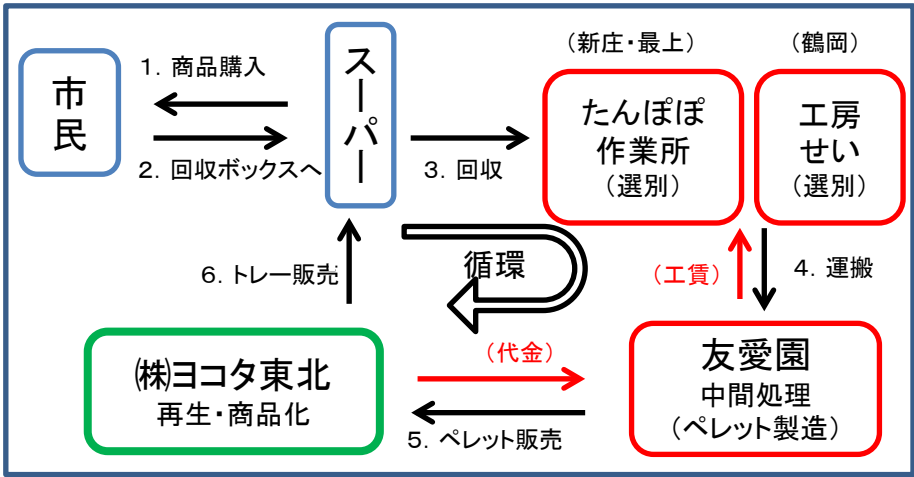


特定非営利活動法人 山形自立支援創造事業舎
就労継続支援B型事業所
みちのく屋台こんにゃく道場
〒990-2494
山形県山形市末広町2-6
TEL 023-673-9494 FAX 023-673-9495

【食品トレーリサイクル～新庄方式～】

Point

- 焼却処分されている食品トレーを回収し、再製品化を図ることで、資源の地域循環による有効活用と地球環境保全を推進する。
- 障害者の社会参加と工賃向上を図る。



事業実施後の経緯

- 平成16年11月 食品トレーリサイクル事業本格操業開始
- 平成19年3月 山形県リサイクルシステム認証
- 平成19年4月 平成18年度容器包装3R推進環境大臣賞受賞
- 平成20年10月 循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰受賞

事業概要

- 各家庭から出たトレーは、ごみステーションか、スーパーの回収ボックスに投入します。
- 投入されたトレーは、たんぽぽ作業所（新庄村）・工房せい（鶴岡市）が回収し、汚れを落とし、分別し、友愛園へ運びます。
- 友愛園では、2台の再生機でペレットを製造します。（平成24年度製造量 トレー110t 魚箱14t）
- ヨコタ東北では、ペレットを全量買い上げし、トレーを製造・販売します。

成果

- 焼却処理されていた使用済み食品トレーをリサイクルすることにより、資源の地域循環と地球環境保全に貢献しています。
- 障害者の社会参加の機会と、工賃向上につながっています。
- この「新庄方式」の視察に、全国から大勢の方が来られます。24年度は48団体（388名）の方が視察されました。

今後の展望

- 食品トレーリサイクル（新庄方式）が全国に広がり、行政・企業・市民・福祉施設が一体となり、資源リサイクルの輪を広げられたらと思います。



回収ボックス



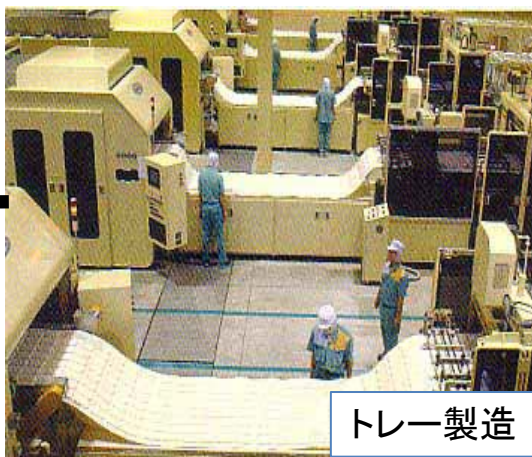
回収～搬送



中間処理



再生トレー



トレー製造



ペレット

事業所より一言

食品トレーリサイクル科の他、家庭科(縫製)、印刷科、加工科(造花・弱電)、園芸科など、いろいろな作業があり、どの作業も利用者が意欲的に取り組んでいます。

本事例の事業所紹介

社会福祉法人 友愛の里

障害福祉サービス事業所(多機能型) **友愛園**

〒996-0054

山形県新庄市大字仁間字野際285

TEL 0233-23-4516 FAX 0233-23-7322

カテゴリ【6】震災復興

【ふくしまから元気を発信！障がいを持つ「なかま」と震災復興プロジェクト】

Point

- 被災地での生活基盤の立て直し
- 8つの事業所（南相馬ファクトリー）での共同作業による仕事おこし
- 被災地福島からの情報発信



- ・カンバッジの製造
- ・ひまわりの種を添えて販売
- ・被災地福島の情報発信

- ・カンバッジの購入
- ・ひまわり栽培



・種の回収

・ひまわり油を搾油してニスに加工

全国の「なかま」

事業実施のきっかけ、経緯

- 東日本大震災により、それまで下請け作業等の発注先であった企業等が被災したため、各事業所における下請け作業が激減した。
- 購入者であった企業や個人も被災し、避難したことにより、震災前の販路が縮小した。
- 壊滅的な被害を受けた福島県沿岸部の事業所の安定的な工賃の確保する必要があった。

事業概要

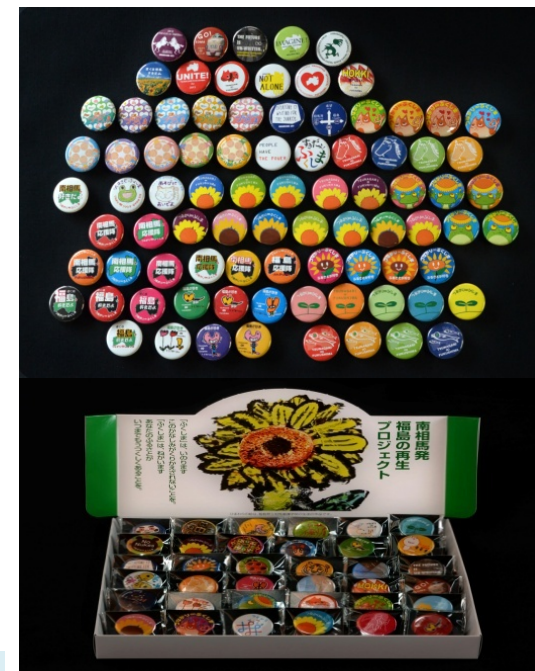
- 南相馬市の7つの事業所と楡葉町の1つの事業所の共同作業による「復興支援カンバッジ」を製造し、ひまわりの種を添えての販売
- 被災地福島の声伝えるため「南相馬ファクトリー日記」としてブログ更新
- 年4回の「南相馬ファクトリー通信」の発行

成果

- 「復興支援カンバッジ」の作成により、8つの事業所における仕事おこしとなり、工賃が確保できた。
- インターネットでの販売を通じ、全国に販路を拡大することができた。
- カンバッジにひまわりの種を添えて販売し、購入者がひまわりを育て、また、その種を回収することでひまわり油の搾油の仕事を生み出した。
- カンバッジ購入をとおり、全国各地の「なかま」との交流が生まれた。

今後の展望

- 全国の「なかま」と一緒に共同製品の開発、販売
- 被災地福島から障がい者施設製品を通した更なるメッセージの発信



事業所より一言

バッチを買ってくれて、ひまわりプロジェクトに協力してくれた皆さんが、応援してくれています。バッチは工賃になり、全国でひまわりの種から芽が出て、花が咲き、種が採れる。それは、思いやりの気持ちです。全国の皆さんとつながり、思いやりのある社会を作ります。

本事例の事業所紹介



南相馬ファクトリー

〒975-0032
福島県南相馬市原町区桜井町1-278

TEL 0244-23-4550 FAX 0244-23-4550

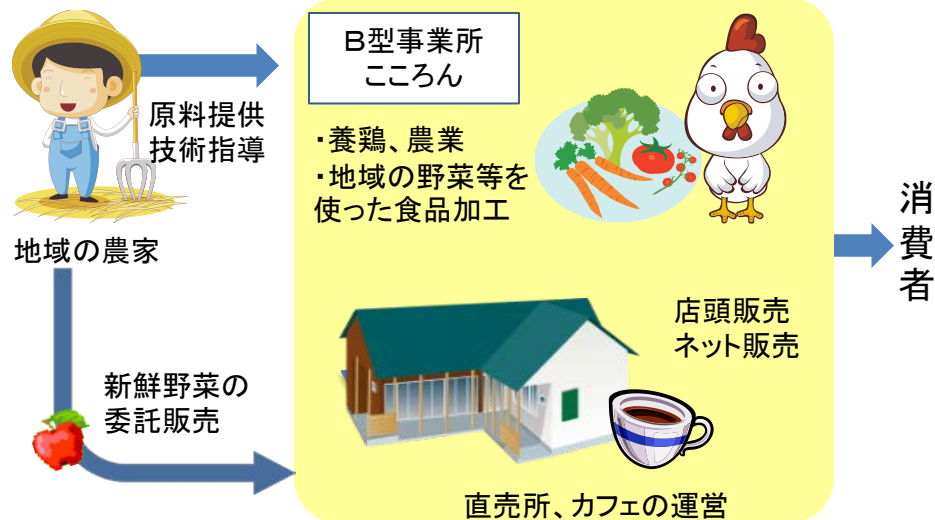


カテゴリ【1】農業との連携

【農と食をととして誰もが安心して暮らせる地域づくり】

Point

- 地域の生産農家との連携による商品販売
- 地域の食材や自家栽培の野菜や鶏肉を使った6次化産業への取り組み



事業実施のきっかけ、経緯

- 「1日3回の食事をきちんと食べる」という当たり前のことが大切にされなくなり、生活習慣病やストレス障がい等を抱えた人が増えている中で、「食」の大切さの再認識が必要とされている。
- 「食えること」をととして地域の方々とコミュニケーションを持ち、障がいを持つ方の社会参加、就業支援の充実を目指す。

事業概要

- 直売所カフェ「ころん」を運営し、地域の農産物や加工品等の販売、店内のカフェで野菜を中心としたヘルシーランチ、スイーツ&コーヒーの提供。
- 養鶏（約2,000羽飼育）、農業（有機農業8反部）
- 自家栽培や地域の農業生産者が生産した野菜を使用してのお菓子やレトルトカレー等の製造、販売
- 高齢化の進む団地や仮設住宅へ、野菜や加工品の移動販売（注：有機JASは取っていません）

成果

- 地域の農家との連携により、廃鶏鳥と地元の食材を使ったレトルトカレーを開発し、新しい事業所の製品を開発することができた。また、地元の酒蔵元との農商工連携事業により卵酒を開発しヒット商品となった。
- 自家栽培や地域の新鮮な野菜や果物を直売所カフェで提供することで、味や品質が評判となり、売上が伸び、利用者の工賃を向上させることができた。
- 地域とのつながりを大切にする中で、精神障害者への理解が進み、利用者が地域にとけこむことができた。

今後の展望

- 東日本大震災の影響が大きく、売り上げが40%減少したが、現在は震災前の水準となった。
- 放射能測定をしっかりと行い安心、安全、おいしい食品の提供を続けていきたい。
- 人の体と心の健康は、豊かな食生活からということを念頭におき、農業、食育に関わる取り組みを進めたい。



事業所より一言

障害のあるなしにかかわらず、誰もが安心して暮らせる地域社会を目指し、障がいのある人も無い人もお互いに、尊重しあい、共に生きる社会の実現が私たちの願いです。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 こころん

〒 969-0101

福島県西白河郡泉崎村川畑37-1

TEL 0248-53-5568 FAX 0248-21-8553

E-mail : cocoroya@cocoron.or.jp

(事業所写真)



【牡丹の街のボタンづくり！】

Point

- 須賀川市内9つの事業所による共同作業
- 地域資源を活かした仕事おこし
- 事業所や利用者の特徴を活かした丁寧な物作りで
全国へ販路を拡大

規模も美しさも世界最大級の国指定名勝
須賀川牡丹園を有する須賀川市



牡丹からイメージして
ボタンを開発



須賀川B型事業所
ネットワーク



メーカーに納品

メーカーでカバンの
飾りとして加工、販売



事業実施のきっかけ、経緯

- 須賀川市内の9つの就労継続支援B型事業所が集まり須賀川B型事業所ネットワーク（略称：SBN）を結成。
- 東日本大震災以降、下請け作業等が減り、事業所の仕事の確保のため、何か地域資源を活かした新商品が作れないものかと考え、市の花でもある牡丹から、木製製品「ボタン」を発案し、試作開始。

事業概要

- 須賀川市内の9つの事業所の共同による木製ボタンの開発。

成果

- インターナショナルギフトショーへの出展を機に大阪のカバンメーカーから2,000個のボタンの注文を受ける。
- 発注先の大阪のカバンメーカーが、「ものづくりで笑顔を届けたい」という思いからSBNのボタンを飾りに使った復興支援ブランド「manga knapp（モンガ・クナップ）」を立ち上げ。
大手百貨店等の展示販売等で1週間で約50万円の売上がりがあり、インターネットでの販売も開始。
※ manga knapp（モンガ・クナップ）
スウェーデン語でたくさんのボタンという意味
- ボタン作りの作業を通して、利用者一人一人の個性が現れ、効果的な作業の流れを構築。

今後の展望

- 障がい者が丁寧につくるあたたかみのある作品が高く評価されており、今後も、安定的に発注が続く見通し。
- ボタンは、カバン以外の洋服等にも広く使われる素材であるため、用途に合わせた新しいボタンの開発も検討し、広く発注先を開拓する。



須賀川共労育成園



須賀川共労育成園



工房アミーコ



百貨店の販売の様子

事業所より一言

須賀川のボタンは、多くの工程に多くの方が係わり、一つ一つ手作業で丁寧に作られています。バックとして製品化され、百貨店などで販売していることは、作業を行う皆さんのやりがいになっています。また、安定した発注が続いていることで、生産技術が向上し、自信を持って作業に取り組んでいます。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人牧人会須賀川共労育成園

〒962-0059

福島県須賀川市吉美根字金子田14-2

(事業所写真)

TEL0248-76-4155 FAX0248-76-4156